

放送大学 北海道同窓会会報

第 22 号

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 中根 恵美子

編集 広報担当

発行日 平成 25 年 8 月 10 日(土)

URL: <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

会員数 193 名(平成 25 年 8 月 6 日)

「北海道学」とは

センター所長 筑和 正格

同窓会員の皆さん、お元気でしょうか。北海道学習センターの学生と教職員一同は今年度も様々な面での学習活動を活発に展開しています。

2 年前の第 2 学期から総合科目「北海道学」が開講されていることは、皆さんご存じだと思います。今学期で第 4 回目を迎えております。「北海道学」の趣旨について『てんとう虫』では以下のように説明しております、「放送大学が推奨している『地域学』の一環」であり「北海道という地域を、歴史・文化・自然・社会・政治・経済等の角度から体系的かつ総合的に考察し、北海道をより深く正確に理解する」という目的のもとで「当該の領域・分野の教育研究の最高峰に立つ先生方」を講師に迎えている、と。

開講の趣旨のポイントは、① 放送大学は全国の学習センターに、当該地域を考察する授業の開講を奨励している、② その趣旨に沿って開講される「北海道学」は、北海道を幾つかの学問範疇——つまりサイエンス(科学)——の視点から、体系的に——つまり科学的に——考察するものである、③ 担当講師は各学問領域でトップレベルにある研究者である、④「北海道学」は「北海道地域の正確な理解」を目的に掲げている、というものです。各回の担当講師の方々は、こうした意図をご理解・賛同の上で授業内容を組み立てておられます。

たとえば、昨年度第 1 学期の講師のお一人である山田吉二郎北海道学習センター客員教授のシラバスには、『北海道学』という学問が本当にありうるものなのか、と問われると、その答えは簡単ではない。『北海道』に関わる個別のテーマを研究すること、という意味なら、それは、もちろん、可能である。北海道の『歴史』、北海道の『産業と経済』、北海道の『文学』等々……しかし、それらを大括りにして『北海道学』というときには、やはり、少し違ったニュアンスが出る。近代日本における北海道のもつ意味、それを学問的に問う、という形になりそうである。つまり、もっと言うと、もし北海道がなかったならば近代日本の文化形態は今あるものと大きく違っていただろうと考えることを意味するだろうと思う。近代日本の歴史において、北海道が日本全体に対して行った『貢献』を学問的に考察すること——『北海道学』のテーマをそのように考えてみたい」と書かれています。

山田先生の講義テーマは北海道の「文化形成」であり、それゆえに「近代日本」という語が繰り返されていますが、「北海道が日本全体に対して行った『貢献』を学問的に考察すること」は、まさしく「北海道学」の基底であります。そして、考察の遂行方法として「もし北海道なかりせば」と仮定し、思考をこらすことは、とりもなおさず今ある現実の根拠を問



いかけることであり、学問的に——この場合は社会科学的に——有効性の高い考察対象へのアプローチなのです。皆さんには、この点を是非認識していただきたいと思います。

今回はアクチュアルな授業について、その意図するところをご説明いたしました。意図をご理解の上、今後ともセンターの活動をご支援くださいますようお願いいたします。



「繋がろう!!東北・北海道の学友と同窓生」

～東北・北海道ブロック同窓会交流会を通して～

北海道同窓会 会長 中根恵美子

皆さん!ご存知ですか?

私達同窓会には放送大学同窓会連合会という強い味方が付いています。全国の同窓会を結集して作られた、学生、母校を支援する力強い組織です。一昨年3月11日の震災の時も連合会のグループメールは刻々と被害を伝えてきました。学生の全国ネットワークがない中で、放送大学学友や同窓生の貴重な情報源でした。このネットワークを通じて全国の放送大学同窓会やその周辺がいち早く震災の深刻さを知ったのです。また、連合会に直接お世話になった方もいらっしゃると思います。ホテルニューオータニで私たちの卒業パーティーを主催して卒業・修了生の祝賀と退任されるセンター所長の慰労も行っています。一番大事な仕事は、全国に同窓会を作る後押しをして、どの同窓会も円滑に運営されるよう指導助言などを行っています。この同窓会連合会の定期総会や同窓会会長情報交換会などで、九州・沖縄ブロック、近畿・関西ブロック、四国山陰ブロックなどの同窓会が交流会を開催したとの報告がありました。連合会の方々に背中を押され、わが北海道同窓会も幹事同窓会として交流会を開催すべく情報交換会で同席していた宮城野同窓会蝦名前会長をお誘いして開催することにしました。学友会やサークル、学生の参加も呼び掛けて東北・北海道の学生、同窓生と友好交流をしたいと準備中です。

本学は学生同士、お互いの顔が見えないという特徴を持っていますが、どのようにしたら全国の学生や各学習センターの学生同士が交流できるのかいつも考えておりました。研究発表会や文化祭などで多数の参加を呼びかけていますが今一つです。東北・北海道ブロック交流会を通して学生や同窓生が友情を交し、各地域の同窓会や学生の活動状況を発表し、情報交換をしあう事によって、より良い知恵が生まれます。また、その効果で応援団である同窓会がレベルアップし、学生の学びライフが有意義なものとなるような方法も生まれてくると確信します。

先日八戸サテライトで面接授業を受け、この文化祭や研究発表会を通じて人的交流が可能であると気づきました。青森の同窓会長と会食し、「せんべい汁」を食べて八戸や青森の食文化の一端を……。学生が積極的に各地の面接授業に出かけて行って交流することもあり、また、各地から面接授業に来られた学生と場所を設けて懇談会をする事も交流の一つでしょう。色々なかたちで交流の場を増やしたいと思います。

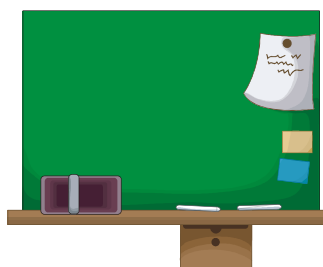
皆さん!!

この交流会をチャンスにして東北・北海道の学生、同窓生がともに手を繋ぎましょう!!

全国の放送大学の学生の知恵が社会の力になるために手を繋ぎましょう!!

平成 24 年度後期 学位授与式の様子

卒業・修了と学位取得をお祝い申し上げます



卒業おめでとうございます

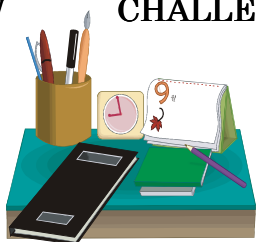
放送大学客員教授 富田房男

卒業という言葉には、一つ物事を成し遂げ一段階上がったという「誇り」と終わったという「安堵感・充実感」があると思います。思い返すと私の場合、小学校、中学校、高等学校、大学までは、何となく終わったという感じが大きかったと思います。ところが大学院を終わった時には違った感じがしました。実は、卒業式ではなく、正確には修了式には出席できなかったのです。しかし、その時卒業を Graduation ではなく Commencement とも云う事を知ったせいもあって、自ら進んで新たな道を探る考え方と手法とを身につけた出発点に立てたと思ったからです。つまり、より自分を高めるためにそして、更に新たなものへの挑戦とは何かを探ることを願って大学院に入り、終わることができたからです。その結果、大学院修了は、新たな挑戦への出発（commencement）であると思いました。私は、民間企業に、大学卒業してすぐ採用され、27 年間民間企業で研究開発に従事した後、北海道大学の教授に採用されました。その当時はごく当たり前の事であった。しかも大学院に進むのはほんの僅かだったし、大学院を終わったからといって特に処遇が変わるわけでもなく、むしろ融通の聞かない方向に少し向かったと思われていた当時でした。余談ですが、このような考え方は今でも日本の一般社会にあります。これは大学の教育が悪いのか社会の受け止め方が悪いのか、あるいはその両方なのかわからない。日本以外ではこんなことはありません。もちろん学歴社会を推奨しているわけではありません。実力が本当に大事なことは承知していますが、それまでの教育・経験は大きく評価されるべきとの考えです。

さて、本論に戻りますが、このように学習の切れ目を Commencement と再度強く感じるようになったのは、放送大学のセンター所長になってからです。放送大学の学生の皆さんは、特に何かの資格をとるためではなく、自分を高めるために、新たなところ挑戦するために学習されていることを目の当たりにして、ますますそう感じるようになりました。従って所長として学位記を伝達する際の言葉としてもしばしば Commencement を使いました。放送大学を卒業されてもまた、入学していくつもの学位記を取得される方が多いのは先のようなお考えの方が学習されているためだと思います。今回も何度かの学位記を取られる方がおられますが、まさにこの思いでおられる方と高く評価しております。

今回もこの日は、Commencement の日であると認識され、まず自分を褒め、明日からまた新たな出発、即ち再入学をされることをお勧めする次第です。

学位記を頂いた皆様が、本日を新たな出発の日として更なる挑戦を開始されることをお祝い申し上げて、お祝いの言葉とさせていただきます。おめでとうございます。
CONGRATULATIONS FOR YOUR GRADUATION AND COMMENCEMENT TO NEW CHALLENGES!!



ご卒業 おめでとうございます

放送大学北海道学習センター
客員教授 恒川昌美



卒業という節目を迎え、皆さんの胸は心地よい達成感と大きな喜びでいっぱいのことと思います。この時を迎えることができた皆さんに、心からご卒業をお祝い申し上げます。

放送大学で学ぶことを通して、皆さんはきっと一段と自律した人間に成長されたことでしょう。学ぶことの意義は、たんに知識の量を増やすことにあるのではなく、自分の意思と責任で将来を決定できる人間へと育っていくことにあります。身に付けた知識を活用して、色々なことについて考え抜き、粘り強く前に踏み出していくことができる人へと、そして多様な人と力を合わせて目標に向かって取り組んでいくことができる人へと、一步一步ステップを昇って行くこと・・・これが学ぶことで得られる最も大切なことでしょう。卒業後も様々なことに関心を持ち、探求し、さらに自律した人間へと成長されるのを期待してやみません。

ところで、皆さんは「浮世根間（うきよねどい）」という落語を聞いたことがありますか？

隠居のところへ八五郎がやってきて、本を読んでいる隠居に

八 「本を読むと儲かりますか？」と聞く

陰 「儲けで本を読むわけじゃない。本は世間を明るくするためのもので、おかげで私はお前の知らないことを知っているのだから、なんでも聞いてご覧」と、隠居は鷹揚に対応
それではと、八五郎は隠居を質問攻めに

八 「今夜隣で嫁入りがあるが、女がくるんだから女入りとか、娘入りといえいいのに、なぜ嫁入りと言うのかね？」

陰 「男に目が二つ、女に目が二つ、二つ二つの目が一つの家に入って一緒になるから四目入りだ」・・・何とも言えない、滑稽なやり取りが次々と続き、やがて

八 「宇宙をブーンと飛行機で飛んだらどこへ行くんだろう？」

陰 「行けども、行けども宇宙だ」

八 「その行けども、行けども宇宙をブーンと飛んだらどこへ行くんでしょう？」

陰 「行けども、行けども、行けども・・・やはり宇宙だ」・・・ついには

八 「その行けども、行けども、行けども、行けども・・・(延々と続けて)・・・宇宙を飛んだらどこへ行くんだろう？」

・・・とうとう隠居は降参して、八五郎に 50 銭をあげることに

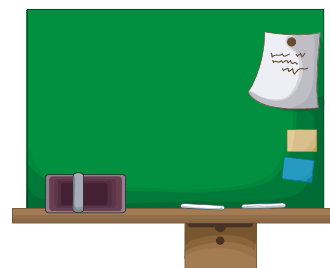
しかし、隠居ならずとも、大宇宙学者でも八五郎が納得するように答えることは難しく、「まだ宇宙は謎だらけ」・・・というのが宇宙惑星科学の実情である。私はこの落語を聞くたびに、笑いながら八五郎のあくなき探究心と、それに必死に答えようとする隠居の真摯さに敬服し、学ぶこと、研究することの真髓の一端を垣間見たような気分になる。

日本画家の小倉遊亀画伯は 105 歳で大往生を遂げられたが、89 歳の時の著書の中で「生きることは、昨日の自分に一步つけ加えて新しい何かを今日見つけること」だといったことを記されている。

新しい何か？・・・例えば知らなかった言葉を一つ覚えること、知り合いが一人できること、やれることが一つ増えること、通里道の梅の花がほころび始めたのにふと気づくことなど・・・ささいなことでもいいので、今日新しいことを一つでも見つけることにぜひチャレンジを！

卒業後も、小倉画伯や八五郎、隠居にあやかり、好奇心、探求心の旺盛な、充実した日々をお過ごしください。そして、母校の放送大学に時々元気な姿を見せにお寄りください。

平成 24 年度後期修了・卒業を祝う会の様子



ご卒業・修了された皆様から寄せられた喜びの「ひとこと」です (写真は学位授与式と祝う会より)

「七十の手習い」

《人間と文化》 札幌市 本間 真一

平成 18 年 9 月 7 日付けで丹保憲仁学長より入学許可書の交付を受け、続いて北海道学習センターの「入学者の集い」に出席し、富田房男センター長以下 9 名の教授の臨席のもと、講話、学習上の注意、併せて事務室の学内システムの説明を受け、平成 18 年度第 2 学期をスタートし、本校学生の仲間入りの出来ました事が懐かしく思い出されます。



昭和 31 年 4 月に高卒で就職した第 1 の職場を 55 才で定年退職し、同時に第 2 の職場で働き、その後の生活は仕事と多数の下手の横好きの趣味に時間を使っていたのですが、時には、何か一つでも良いからせつかくの人生を輝かせるものは無いものかと考えていた時に、ラジオからの放送大学の案内放送を聴き

学校が存在を知りました。時に 69 才の春でした。
丁度その頃何かに書かれていた一つの俚諺「七十の手習い、八十に間に合う」の言葉に出会いました。放送大学への入学許可していただいたのが、69 才の時でしたので、自分勝手に 69 才を 70 才におきかえ 80 才までにはどんなに苦しくとも卒業まで行き着こうと心した事が思い浮かびます。入学の後、73 才で仕事をリタイヤし、学習に専念して、面接授業、通信指導、単位認定試験、加えて学友会の催物などへの参加等有意義な歳月を重ね 8 年 13 学期間の学生生活を経て、平成 25 年 2 月 22 日付、岡部洋一学長より卒業の認定書を受けました。併せて筑和正格所長より「学位授与式」のご案内をいただき 3 月 24 日の卒業式に出席させていただく事にいたしました。

卒業まで来れたのも、諸先生の教え、並びに事務室の方々のお力添えをいただき今日を迎えられた事に対し、心より深く感謝申し上げます。

併せて家族の理解と応援に対し、お礼を申し上げます。

「七十七才で卒業が出来、八十に間に合いました。

できるのか「研究テーマ」を確定しなければなりません。



《社会と産業》

千歳市 宮崎 新吾

岡部放送大学学長、筑和北海道学習センター所長、面接授業や放送授業でお世話になった先生方、事務局の皆様、そして、教室などで温かい言葉をかけてくださった放送大学の仲間たちに、この度の卒業を迎えるにあたり心か



ら感謝申し上げたいと存じます。

1992年10月に入学して以来、消防の仕事をしてながら、わたしの人生の半分に近い20年間もの長きに渡りご指導していただきました。その御指導のおかげをもちまして、来年度から北海道大学大学院文学研究科でさらなる勉強をさせていただけることになりました。このことは放送大学が本当に優れた大学であることの証左にほかならないと確信いたします。本当にありがとうございました。

ただ、放送大学は質の高い学生が集っている優れた大学であるにもかかわらず、現在のところまだ若干認知度が低く残念に感じています。これからは、さらに、卒業生・在校生が一丸となって、皆で自らの出身校を宣揚し、壮言していきたいと思えます。

最後に、このような素晴らしい学びの場を与えてくださったことに感謝するとともに、これからも人の役に立つ勉強を続けていくことをここに決意いたします。本当にありがとうございました。



《社会と経済》

札幌市 鈴木 一雄

この3月、3度目の卒業を契機に、平成10年以来15年間慣れ親しんだ学部生活にひとまず区切りをつけることにしました。

4月からは又新しい気持ちで、これまでもやり残したこと、始めてみたい事などを整理しながら、前に進んでいきたいと考えています。

お世話になった皆様に「ありがとう」と心より感謝を

込めて・・・。





金加 美恵子

平成9年3月に私は、高等学校定年退職の離任式で全校生徒に「お互い夢を持って進もう」と呼びかけて、4月より放送大学全科履修3年に

編入学し学習を続けて、此の度6専攻講座を修了いたしました。

顧みますと大学生活は多くの人々に出会い面白く楽しいものでありました。

特に面接授業では北海道学習センターの諸先生は勿論、他の土地に伺っての面接授業は忘れがたい思い出です。

入学目標の内で、札幌養護学校のボランティアは養成を受けての9月に開始し、専門学校へは9月に臨時講師で始まり卒業は最初「発達と教育」を学習し、次に計画通り「生活と福祉」を勉強しましたが、専門学校生の教育指導に役立ちました。社会に目を向けて勉強しだした時、大学の帰途、右手骨折により専門学校の非常勤講師の職をやめ、続いて雇った

ドライアイによりテレビの視聴は禁じられた為に学業に力を発揮できず、この段階で自分自身の研究はあきらめました。

勉強と身内の介護後見の両立に苦しんだが、「社会と経済」「産業と技術」の勉強は面白く勉強がかえってなぐさめとなりました。姉のディサービスの利用により大学にもどり「人間の探求」を勉強し卒業しました。最後の

「自然と環境」は当時の教務の方々の励ましによりスタートしましたが、ある事から6専攻中一番つらい勉強となりました。その上に姉の介護及び自分自身の体調不調と重なって卒業が遅れてしまい残念に思います。



勉強に躓いた時、16年前の3月の教え子達の真剣な眼差を思い出し力づけられ勉強を続けました。

長い間、教職員、事務職員、学生の皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。

4月からは選科生として学習しますのでよろしく。

大学に道をたずねてたどる身は

峠を越えて心安らか

※ 敬称略 順不同・原文のまま 住所無記入は本人希望



※ <修了・卒業を祝う会の様子>



※

修了・卒業生より記念品贈呈の様子



平成 25 年度定期総会を開催しました

平成 25 年度定期総会を 4 月 20 日（土）午後 3 時から、学習センター 6F 大講義室で開催しました。

会長挨拶の後、会員 192 名 出席者 19 名欠席委任状 52 名と報告の後、議事に入りました。

第 1 号～第 3 号議案（平成 24 年度事業経過報告・会計収支決算報告・会計監査報告）、第 4 号～第 5 号議案（平成 25 年度事業計画案・会計収支予算案）、第 6 号議案(役員改選)について、いずれも承認可決されました。

平成 24 年度の北海道同窓会の主な行事としては、

1、諸会議の開催

- （1）定期総会を 5 月 12 日に開催しました。
- （2）役員会は必要な都度開催しました。
- （3）三役会、臨時役員会は必要に応じて開催しました

2、各種の行事

- （1）「卒業を祝う会」を 9 月 28 日・平成 25 年 3 月 30 日「学位記授与式」に合わせ開催しました。あわせて卒業生の感想文を「ひとこと集」にまとめ発行しました。
- （2）第 8 回全道生涯教育研究発表会「6 月 2 日（土）」を学友会学生サークルと実行委員会を立ち上げ、道民カレッジとの連携講座として行いました。
- （3）第 4 回文化祭は学友会学生サークルと実行委員会を立ち上げ、道民カレッジとの連携講座として 9 月 11 日から 16 日まで行いました。また、最終日の 16 日は放送大学北海道学習センターの地域連携プロジェクトとして「みんなの文化祭」を FM 三角山放送局で行いました。このプロジェクトは 11 月 3 日函館 11 月 17 日帯広と 3 か所で第 4 回文化祭の一環として開催しました。
- （4）4 月、10 月の入学者の集いなどは学友会や学生サークルと一丸となって行事に参加し、学生と母校支援のため支援活動をしました。
- （6）海岸清掃・街美化などのボランティアに積極的に参加しました。また、ビーチコーミングで海岸漂着物の学術的データ集積にも協力しました。

3、会報の発行

第 20 号と第 21 号を発行しました。

4、広報活動

- （1）年 2 回（9 月・3 月）の卒業にあわせ、会員募集を実施し、ほかに、センターの掲示板を使った広報活動を年間通じ実施しました。
- （2）同窓会のホームページを活用し、会の活動を PR してきました。



放送大学イメージキャラクター
まなびー

第 2 号議案

平成 24 年度会計収支決算書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

○収入の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
繰越金	322,854	322,854	0	
繰越前受会費	295,000	295,000	0	平成 25 年度以降分
入会金	25,000	23,000	△ 2,000	前受入会金 14,000
年会費	170,000	177,000	7,000	前受会費 107,000
助成金	100,000	100,000	0	連合会より
その他の収入	46	120	74	受取利子
当期前受会費		122,000	122,000	平成 25 年度以降分
預り金		75,900		義援金、委託販売他
合 計	912,900	1,115,874	127,074	

○支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
通信費	25,000	34,560	9,560	総会案内送料ほか
事務費	50,000	38,772	△ 11,228	用紙代ほか
事業費	245,000	166,058	△ 78,942	
（研究発表会助成）	55,748	45,748	△ 10,000	
（音楽会助成）	84,252	74,252	△ 10,000	
（会報・広報費）	60,000	38,000	△ 22,000	
（卒業を祝う会費）	25,000	2,743	△ 22,257	下記の内訳のとおり
（ホームページ費）	10,000	5,315	△ 4,685	
（その他）	10,000	0	△ 10,000	文化祭講演会
旅費交通費	45,000	43,000	△ 2,000	
（交通費）	25,000	23,000	△ 2,000	役員等交通費補助
（旅費）	20,000	20,000	0	連合会会議旅費補助
予備費	252,900	0	△ 252,900	
次期繰越前受会費	295,000	417,000	122,000	下記の内訳のとおり
次期繰越預り金		75,900	75,900	義援金、委託販売
次期繰越金		340,584	340,584	預金 418,694、郵便振替 414,790
合 計	912,900	1,115,874	202,974	残高 833,484

※東日本大震災義援金が 60,000 円集まり、宮城同窓会を通じて被災者に送る予定です。

第3号議案

会 計 監 査 報 告

放送大学北海道同窓会平成24年度収支決算について、会計帳票、領収書、通帳等を監査の結果、いずれも適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

平成25年 3月3 / 日

監査 長谷部 清 
監査 竹井 俊介 

2013年度(平成25年度)北海道同窓会の主な行事としては、

1、諸会議の開催

- (1) 定期総会を4月20日に開催します。
- (2) 役員会は必要な都度開催します。
- (3) 三役会、臨時役員会は必要に応じて開催します。

2、各種の行事

- (1) 「卒業・修了を祝う会」を年2回の「卒業証書・学位記授与式」に合わせ開催します。あわせて卒業生の感想文を「ひとこと集」にまとめ発行します。
- (2) 第9回放送大学研究発表会は大講義室が面接授業で使用しない8月31日(土)に開催します。実行委員会として学友会・学生サークルと協働して母校と学生を支援します。
- (3) 第1回東北北海道ブロック同窓会交流会を8月31日、9月1日に開催します。参加予定同窓会は秋田・宮城野・青森・山形・北海道で参加予定30名です。
- (3) 第5回文化祭を実行委員会として活動します。
- (4) 年2回の「入学者の集い」や学友会等のクラブ活動などの行事に参加し、母校と学生の支援をします。
- (5) 海岸清掃・街美化などのボランティアに積極的に参加します。また、ビーチコーミングで海岸漂着物の学術的データ集積にも協力します。

3、会報の発行

年2回以上発行します。

4、広報活動

- (1) 年2回(9月・3月)の卒業にあわせ、会員募集を実施するほか、センターの掲示板を使った広報活動を年間通じ実施します。
- (2) 同窓会のホームページを活用し、会の活動をPRしていきます。

平成 25 年度会計収支予算

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

○収入の部

単位:円

科 目	予 算 額	備 考
前期繰越金	340,584	
繰越前受会費	275,000	平成 26 年度以降分
入会金	20,000	前受入会金 13,000
年会費	170,000	前受会費 129,000
その他の収入	116	受取利息
繰越預り金	75,900	義援金、委託販売
合 計	881,600	

○支出の部

科 目	予 算 額	備 考
通信費	25,000	総会案内送料ほか
事務費	20,000	用紙代ほか
事業費	135,000	下記内訳のとおり
（研究発表会助成）	20,000	実行委員会
（文化祭助成）	20,000	実行委員会
（会報・広報費）	50,000	会報・広報制作費、送料ほか
（卒業を祝う会費）	25,000	祝う会参加費との差額
（ホームページ費）	10,000	ホームページ運営費用
（その他）	10,000	その他の事業
旅費交通費	55,000	下記内訳のとおり
（交通費）	35,000	役員等交通費補助
（旅費）	20,000	同窓会連合会会議旅費補助
預り金戻し	75,900	前期預り金
次期繰越前受会費	275,000	平成 26 年度以降分
予備費	295,700	
合 計	881,600	

放送大学北海道同窓会役員

会 長	中根 恵美子	幹 事	小林 祐吉
副会長	鈴 木 誠	幹 事	鈴木 一雄
副会長	結城 愛子	幹 事	向井 邦弘
幹 事	安藤 典子	幹 事	宮崎 新吾
幹 事	中原 美代子	幹 事	具志 千晶

監 査	竹井 俊介	監 査	長谷部 清
-----	-------	-----	-------

参 与	前 SC 所長 富田 房男	参与	学友会会長
-----	---------------	----	-------

第 1 回東北・北海道フロック交流会のお知らせ

開催日程 平成 25 年 8 月 31 日(土) から 9 月 1 日(日)

第 9 回放送大学件研究発表会出席 : 31 日 13 時から大講義室

第 9 回放送大学件研究発表会参加学生との交流: 31 日(土) 16 時 30 分から

懇親会 : 31 日(土) 午後 6 時から

第 1 回東北・北海道フロック交流会 : 1 日(日) 午前 9 時から中講義室

上記開催場所 : 北海道学習センター 6 階

皆さんの参加をお待ちしています

第9回 放送大学研究発表会を

2013年 8月31日（土）13:00~17:00 開催します。

記念講演：

前放送大学北海道学習センター所長
富田房男（とみたふさお）氏



演題：「生活に役立つバイオサイエンス」

プロフィール

北海道大学農学部農芸化学科応用菌学教室を卒業後、民間企業を経てこの間にカナダに留学し、学位（Ph.D. in Molecular Biology）を得た。その後、出身大学出身教室の教授に任命され、応用菌学（応用微生物学）を担当した。大学の運営に関しても評議員、副学長を務める機会を得て、大変良い経験となった。また、大学からの知的財産の活用を図るため、株式会社北海道ティーエル・オーの設立に関与し、副社長、社長を務めた。北大を定年退職後、放送大学に採用になり、北海道学習センター所長を務めた。ここでも評議員として運営にわずかながら関与できたことは大変良い経験であり、名誉なことでした。また、放送授業を愛知学習センター所長塚越規弘先生とともに「バイオサイエンスで豊かな暮らし」を担当していることについては、大変素晴らしい思いをさせていただいていると感謝しています。この御蔭でいまだに放送大学客員教授であることは大変名誉であり、喜んでいるところです。2013年が最後の年ですが、この一年を受講生のみなさまと楽しみたいと願っております。

微生物及びバイオサイエンスとバイオテクノロジーに生涯付き合いたいと願っております。

また、科学・技術特にバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて正しい情報を広く知ってもらうために、日本学術会議特任連携会員（IUMS、国際微生物学連盟、分科会担当）、日本工学アカデミー会員、日本農学アカデミー会員、米国微生物学アカデミー会員、IUMS アジア大使、日本バイオテクノロジー情報センター代表として活動をしている。この他にバイオインダストリー協会理事、北海道バイオインダストリー（HOBIA）名誉会長、北海道食品産業協議会（HOFIA）副会長、北海道総合研究機構顧問及び評価委員会委員長としても活動している。

講演概要

バイオサイエンスというとカタカナなのでなんとなく違和感のある方も多いでしょう。バイオという言葉は、ギリシャ語の BIOS そんなに新しくはないのです。「学習」と「研究」の違いは、比較的わかりやすいものでしょう。今世紀は、バイオの世紀と言われておりますが、これは、20 世紀後半に一気に開花した生物学の知識と技術によるものです。生物が他の星々にもあると言われておりますが、その証拠はまだ確かではありません。従って、生物学

は、地球に限定された学問領域かもしれませんが、その基本的科学が解明されたのは前世紀の後半であります。特に生物学のセントラルドグマと言われる DNA、RNA、タンパク質への情報の流れ、全生物に共通な DNA の情報を解明し、その成果を更に広げているのが 21 世紀と言えます。

本講義では、生物学の基本から最先端までを概説し、特に今盛んに語られている地球環境保全、生物多様性、先端生物学、また遺伝子組換え技術とその成果などを概説してみたい。

先ずは、生物とはなにか、その科学的理解をしてから、我々の暮らしとの関わり合い、即ち共存共栄には、何が大事なのかも述べてみたい。

このためには、生物の発生、分化、進化、遺伝、生命現象、生物相互の関わり合いをともに学んでみたい。あまりに生物学の進歩が早いため情報がうまく伝わっていない。特に高等学校までの生物学には、現在の生物学の状況が入っていないように思われる。そこで一般の方々の中には、ヒトは、生物ではないような、または特別な生物のように考える方々も多いように見受けられるので、ヒトと他の生物や環境との関わり合いなどを皆様の質問を受けながら講義を進めてみたい。遺伝子組換え技術及びその産物についても同様に考えて質問を受けて答える形で講義を進めたい。これからの我々の生物としてのあり方も含めて皆さんと一緒に考える試みを行いたい。どうかたくさんの質問を準備されて参加されることを期待しております。

研究発表

発表1 テーマ 「“ビザなし交流”とナショナリズムの研究」 高 橋 誠 氏

<プロフィール>

学歴：平成 22 年 4 月 放送大学大学院選科履修生
平成 23 年 4 月 放送大学大学院全科履修生
(所属プログラム：社会経営科学プログラム)
平成 25 年 3 月 放送大学大学院修了

<発表の概要>

私はかつて北方四島交流事業（いわゆる“ビザなし交流”）の事務局職員として、北方四島へ参加者の皆様とともに渡航しておりました。そこで目の当たりにしたのは、着実に進むロシアによる実効支配でした。その中で、“ビザなし交流”の北方四島返還に果たす役割について自分なりに整理したいと思い放送大学の門を叩きました。

修士論文では、主に“北方領土を考える”高校生弁論大会や“ビザなし交流”（いずれも社団法人北方領土復帰期成同盟主催）に参加された高校生の発表・感想を中心に読ませて頂き、これを国際政治学（ナショナリズム）の観点から考察させて頂きました。

当日は、その発表・感想から読み取れる、北方領土返還要求運動を契機としたナショナリズムの形成過程や高校生たちに見られる特徴的なナショナリズムのかたち、そして“ビザなし交流”等の北方四島返還に果たす役割について発表できればと考えております。

発表2 テーマ 「外乱刺激によるバランス反応の戦略選択と体幹筋活動」 吉田 幸史 氏

<プロフィール>

1968 旭川に生まれる

1991 北海道大学医療技術短期大学部 理学療法学科卒
(理学療法士)

約 12 年間 病院でリハビリテーション業務に従事

2003 北都保健福祉専門学校 教員

2013 放送大学大学院 文化科学研究科 生活健康科学プログラム終了

<発表の概要>

バランスとは多くの要素を含んだ言葉であり、バランスが良いとはどのような事を指しているか不明な点が多い。そこで臨床現場で使われている外乱反応を取り上げて、その時に健常者ではどのような活動が起こっているか調査した。

外乱刺激を加えた場合、大きく 2 種類の反応がありその違いは何によるものか検討した。また、外乱刺激を加えても反応が見られない時がある。それは何故か外乱の速さで検討した。

要旨

【はじめに】 バランス検査にはいろいろなものがあるが、外乱刺激に対する検査方法は確立されていない。それにもかかわらず理学療法士は骨盤や肩甲帯に外乱刺激を加えてその反応をみている。しかし、その反応は一定ではない事が経験される。

【目的】 骨盤への外乱刺激に対してどのような筋活動を行うのか、その刺激量はどの程度必要なのか調査することである。

【方法】 健常男子を対象に骨盤に外乱刺激を与えた時の体幹の反応を筋電図学的に調査した。外乱刺激には等速性運動装置のパッシブモードを使用し、全対象者に 3 種類の外乱を与えた。筋電図の電極は頸部屈筋、頸部伸筋、上部背筋、下部背筋、腹直筋、腹斜筋、大腿四頭筋に付着した。統計処理には各筋電量を最大筋電量の 100 分率で表し、t 検定と一元分散分析を行った。

【結果】 体幹傾斜群（体幹を後方に傾ける反応）は腹斜筋で骨盤回旋群（体幹を丸めるように反応）よりも有意に筋活動が大きかった。しかも、外乱刺激が大きくなるほど大きな筋活動を示した。しかし、全対象者が体幹傾斜パターンで反応をしてみようと、有意差は無くなった。また、体幹傾斜群では安静時に背筋は筋活動しているが、外乱刺激時には筋活動は抑制された。骨盤回旋群では常に筋活動を認め、抑制現象は認められなかった。

【考察】 体幹傾斜群と骨盤回旋群で体幹筋の使い方に違いがある事が示唆された。腹斜筋は体幹を安定させるグローバルマッスルの一つで、どの筋で体幹の安定を得ているかは個人により違いがある。また、腹斜筋が大きな活動を起こすために、相反抑制として背筋は抑制現象を起こしたと考える。その為に体幹傾斜群では抑制現象が認められ、骨盤回旋群では抑制現象が認められなかった。

発表3 テーマ「プロ野球選手におけるセカンドキャリア考察

～機構や球団、そして地域の介入は有効か～」 飴田 美佳氏

<プロフィール>

北見出身

旅行代理店勤務を経て、平成3年より札幌医科大学事務局に勤務
平成10年4月 放送大学全科履修生 社会と産業コース に編入

<発表の概要>

問題関心

プロ野球は数少ない「プロ」(プロフェッショナル=専門家。職業としてそれを行う人、広辞苑)スポーツの中でも花形であり、多くの少年たちはプロ野球選手を夢見て一日の大半を練習に費やす。日本の男子小学生のなりたい職業ランキング(株 クラレ 2012年調べ)のアンケートで、プロスポーツ選手は過去3年間上位を占めている。しかし「プロ」と称されるにもかかわらず、プロ野球選手は一事業主であり、支配下の登録が無くなると事実上失業する。引退後の進路選択(以下、セカンドキャリア)は、本人任せというのが現状だ。選手の平均選手寿命が約9年で、平均引退年齢は約29歳(選手会 HP)であり、その大半が日々のトレーニングに追われ、自分が一社会人として日常を送る事をイメージしないまま、戦力外通告を受ける事も少なくないだろう。そんなとき、選手はどういう形で現実を受け入れ、折り合いをつけ「セカンドキャリア」にむけて人生を再構築するのか。

また、2006年にNPBにセカンドキャリアサポート部門が出来た。「新人研修会」「戦力外通告を受けた選手の追跡調査」「リクルートとタイアップしたフェニックスリーグ参加の若手選手へ現役後の意識調査」「機関誌の発行」「PR活動」などを中心として行っているが、部門として予算をとり積極的に活動している訳ではないようだ。で、あれば球団や地域が介入する事により、選手たちがよりよく社会に参入できるのではないかという仮説を元に、6人の元プロ野球選手への45~90分の対面式の聞き取りを交えて考察した。

昨年の研究発表会の様子



第1回東北・北海道同窓会ブロック交流会を記念に各地の同窓会・学友会の会報を抜粋して掲載します。第1回目は青森学習センター学友会の会報「ぶなのもり」を紹介します。

ぶなのもり

第56号

平成25年 5月28日

発行

放送大学

青森学習センター

学友会広報部

なんたって 学友会でござい

放送大学青森学習センター学友会会長 内山 宏

5月21日（火）、編集者の邦子さんからCメールが届いていた。夕刻函館朝市のベンチで確認したのだ。すっかり本原稿を忘れていた。で、本原稿を青函フェリー18時発はやぶさ3号のドライバースルールのベッドで書いている。5月19日（日）第39回洞爺湖マラソン（13回目）への参加で北海道である。翌日、島牧ユースホステルへ。さらに積丹ユースである。映画、川柳、マラソン、労働組合、はたまた放送大学、いったい何が本業で、何がついでなのか・・・。

ところで4月29日（昭和の日）、学友会第8回観桜会へご参加の皆様、満開ではなかったけど、皆の心は満開だった。感謝。

さて7月6日（土）は、八戸・いさばのかっちゃん探訪。県南の皆様は特にご参加を。特に女性の皆様、いさばのかっちゃんの血がたぎりませんか。

ペンだこで どくんどくと 血がたぎる

孤 遊

観桜会に参加して

全科履修生 須藤 ありさ



4月末に開かれた、放送大学学友会の観桜会。先日放送大学に入学したばかりの私は、皆さんと仲良くなりたいな、なれるかな、と観桜会の何日も前からドキドキしていました。

しかし当日、集合場所に来てみると、私は人見知りをしてしまい、挨拶だけして黙り込んでしまいました。集合場所から弘前公園の本丸へと向かう足取りも重く、ひとりトボトボと歩いていました。

するとそんな私の心を読み取ったのか、近くを歩いていたお兄さんが、

「初めてで緊張してらべ。誰も嘘みついでこねえはんで大丈夫だね。」

と素敵な語りで励ましてくれました。それからは、人見知りする事もなく、桜は残念ながらまだ蕾でしたが、皆さんと楽しい時間を過ごす事が出来ました。

次回の観桜会も是非参加させて頂きたいと思いましたが、来年は自分から話しかけて、本丸の桜に負けない位、皆さんとの会話を花を咲かせたいな、と今から意気込んでいます。



「弘前観桜会に参加して」

八戸サテライトスペース所属 田高 正博



放送大学に入り初の観桜会に参加しました。私の居住地は岩手県沿岸部ですが、通学の都合上、八戸サテライトに所属しています。そのため当日は、これまであまり訪れたことのない弘前で足を伸ばすこととなりました。

地元は先の震災で津波を受け、その後の復興支援、高速道路の建設、某テレビドラマの舞台となるなど、かつてない大変化の最中です。そんな中で私自身、世の中知らない事が多いなと感じ、大学に入ろうと考えるようになりました。放送大学では様々な方がいると聞いていたので交流を通じていろいろなことを勉強できると期待していました。

観桜会に参加してさっそく、思わぬ出会いがありました。かつて、地元にあった鉱山で働いた方と偶然お会いしました。昔は数多くの方が鉱工業に従事していたと聞いていましたが、偶然にも弘前に来て地元の貴重な昔話を聞いたことは予想外の収穫でした。会に参加された方々は人生の大先輩の様な方々が多くおられたので、講義に加えて様々なことを学んでいけたらいいなと感じた観桜会でした。



車座になって

会費納入と新入会員募集のお願い

2013 年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振込み下さる様ご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費（初年度）1,000 円を下記口座へご送金ください。（次年度以降は年会費のみとなります。）

郵便口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『口コミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター
TEL 011-736-6318

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目

放送大学北海道学習センター内

放送大学北海道同窓会

学習センター事務室内ポストに直接投函可

FAX・電話番号 011-642-2389 中根

E-mail tomi-2.7.2@jcom.home.ne.jp

URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>

新入会員のご紹介！！（敬称略・順不同）

2012 年後期卒業生

() 上田 徳雄	(生) 斉藤 昌子
() 三田 郁郎	() 本間 眞一
(生) 水本 善四郎	(人) 榊原 峰子
(心) 川原 絹江	(社) 宮崎 新吾
(人) 白川 順子	(社) 中塚 優子
(心) 稲熊 智苗	(生) 木下 由貴
() 漢那 瑞奈	(社) 中河 つる子
(院) 武井 章二	

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

パソコン学び隊隊員 募集中！

パソコンは持っているけれども、今ひとつ利用できていない・・・

そんな悩みを解決しませんか？

システムわかばにアクセスしたいなどなど

放送大学在学学生なら誰でも隊員になれます

連絡先 メール: miyasabon@yahoo.co.jp

電話番号: 080-5585-3416 島田

編集後記

北海道の夏！ 今日真夏日！

やっぱり大通り公園でビールでしょ!!

学友とビール園でジンギスカンに舌鼓を打ち、「試験が終わってホットしたね」などと楽しい時を過ごし、帰宅する頃に外は肌寒くなっていました。ほろ酔い加減で冷たい風に吹かれながら帰ってきました。

今年はそんな札幌で第一回東北・北海道ブロック同窓会交流会を「開催します。」と幹事同窓会として手を上げました。秋田 4 名、宮城野 3 名、山形 1 名、青森 5 名の参加申し込みがありほっとしました。岩手、福島に同窓会がないとの事ですので、同窓会が早く結成され私たちも応援していきたいと思っています。皆さんも是非参加して下さい。皆で仲間を増やし、少しでも顔が見える母校にしたいですね。